

2. 知床世界自然遺産地域における生態系保全管理業務の強化

知床森林生態系保全センター（斜里町ウトロ）を中心に、世界自然遺産地域を含む知床半島の森林生態系保全管理業務をさらに強化します。

（1）生態系に深刻な影響を与えるエゾシカの捕獲拡大

平成26年度は斜里町の遺産隣接地区において120頭捕獲しました。今年度は、囲いワナの増設や民間企業等との共同捕獲箇所の追加などにより200頭以上の捕獲を目指します。

（2）産卵環境改善に焦点をあてた治山ダム改良を実施

遺産地域内にあるオッカバケ川（羅臼町）の2基のダムについて、改良工事の具体的な検討を引き続き進めるとともに、ユネスコ世界遺産委員会から注目されているルシャ川（斜里町）の産卵環境改善等に北海道と連携して取り組みます。

（3）順応的管理のための各種モニタリング調査の実施

遺産地域を順応的に管理するには自然環境等のモニタリングが欠かせません。エゾシカによる植生への影響、中大型哺乳類や淡水魚の生息状況、河川水温等について引き続き調査するとともに、今年度から羅臼湖歩道の浸食状況調査等を開始します。



オッカバケ川治山ダムの改良検討



知床を代表する魚種の一つ
オショロコマ